

「建設業労働災害防止大会」盛況に開催

初の試み

労働劇「波紋 ある工事現場の悲劇」を上演

当協会は去る11月11日、名古屋北労働基準監督署の後援を得て、建設業労働災害防止協会愛知県支部名古屋北分会と共催で、「第28回建設業労働災害

防止大会」をウイルあいちホールで開催、建設工

事現場責任者など関係者約400名が参加しまし

た。

当日は最初に、当協会安全衛生部会長の清水建設(株)名古屋支店 田中安



盛況の「第28回建設業労働災害防止大会」



松田安全衛生課長



田中北監督署長



事例発表する平井所長



田中安全衛生部会長



額額北分会長



東猴品質安全環境課長

全環境部長の開会挨拶、田中名古屋北労働基準監督署長の大会挨拶があり、その後同署 松田安全衛生課長による「建設業の労働災害発生の現状と問題点について」と題する安全講話、引き続き「ザ・パークハウス久屋大通ロイヤルタワー新築工事における安全の取り組み」について、清水建設(株)名古屋支店建築部 ザ・パークハウスローレルタワー新築工事作業所 平井則行所長より事例発表が行われました。

このあと、新たな試みとして、労働劇「波紋 ある工事現場の悲劇」を上演しました。労働劇は労働災害防止大会としては初の試みです。劇の脚本と劇中の解説は弁護士 庄司俊哉氏、出演は大会を主催する当協会と建設業労働災害防止協会愛知県支部名古屋北分会の総勢25名が担当しました。舞台上に臨場感あふれる工事現場、裁判所等

労働劇「波紋 ある工事現場の悲劇、」より



監督署の捜査会議



無資格者のクレーン操作で死亡事故発生



裁判所で問い詰められる社長



幕間に解説する庄司弁護士



決意新たに労働災害防止を誓う一同



死亡事故の罪の重さを実感する社長

を再現し、労働災害が被災労働者とその家族だけでなく、会社経営者、同僚等多くの方に及ぼす波紋「悲劇」を伝え、労働災害の悲惨さを訴えました。

その後、(株)日東建設東猿品質安全環境課長より大会宣言(案)の発表があり、満場の拍手をもって採択されました。最後に、建設業労働災害防止協会愛知県支部名

古屋北分会長・大有建設(株) 額取取締役常務執行役員より閉会挨拶があり、大会は盛況のうちに幕を閉じました。

当協会では大会、社内研修、イベント等において
出張“労働劇”を行います

項目	内容	解説	時間
労働災害の防止	波紋 ある工場の悲劇 波紋 ある工事現場の悲劇	弁護士	90分 から
労使紛争の防止	労働局あっせん、労働審判、裁判、 合同労組団体交渉	弁護士	60分 から
パワハラ・ セクハラの防止	セクハラ・パワハラの 該当行為と防止対策	産業 カウンセラー	60分 から
メンタルヘルス対策	メンタルヘルスのトラブル事例と企業対策	産業 カウンセラー	60分 から

安全大会、各種会合イベント、社員教育等で実施いたします。
実施時間・費用等調整可能です。お気軽に事務局までお問い合わせください。
〔お問い合わせ先〕当協会 事業企画推進課 (☎052-961-3655)